

流山市下水道ビジョン 2023-2032

～市民の快適な暮らしを支える下水道～

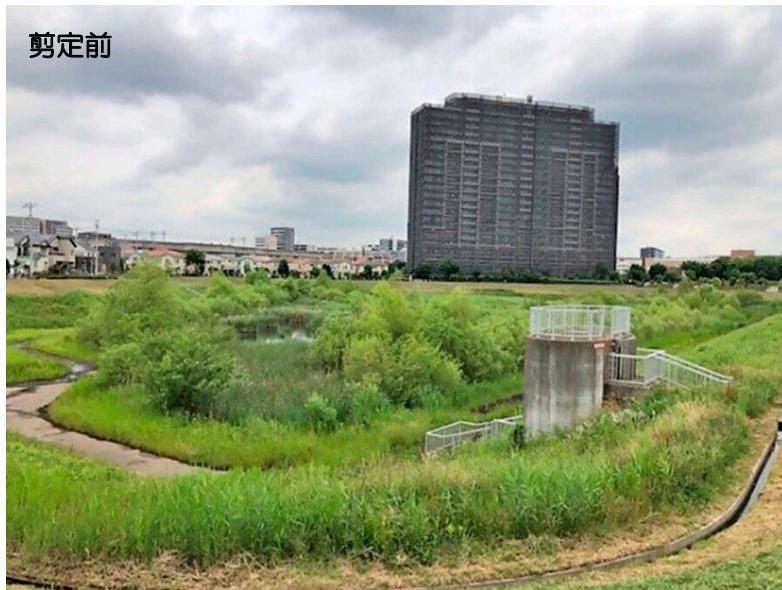


市野谷調整池
(市野谷水鳥の池)

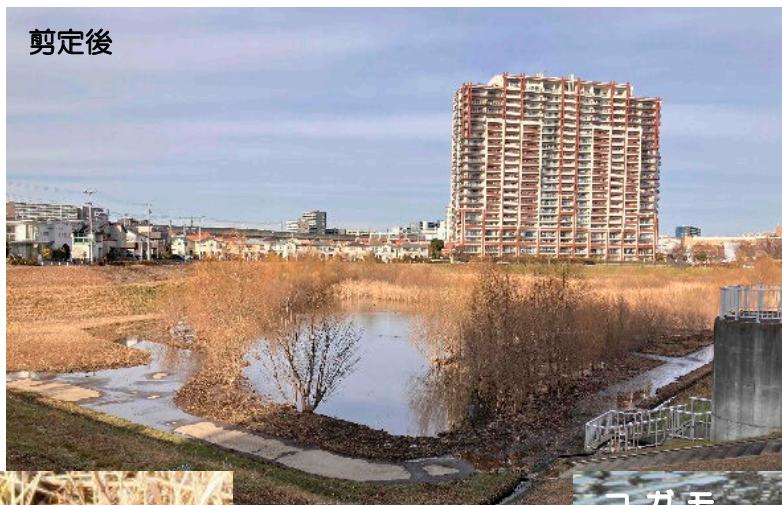
都心から
一番近い
森のまち

流山市
Nagareyama City

市野谷調整池 (市野谷水鳥の池)



表紙の市野谷調整池（市野谷水鳥の池）は令和4年12月に池内の草木の剪定をおこなったところ、多くの水鳥が飛来しております。



はじめに

「都心から一番近い森のまち」の良質な住環境の中での下水道サービスを永続的に提供するために、流山市下水道ビジョンを策定しました。

このビジョンは令和5年（2023）年度から令和14（2032）年度の10年間を計画期間として、下水道事業の課題を整理し、基本目標と実現方策を定めることにより、流山市の将来の姿を具現化しています。

流山市は分散した既成市街地とつくばエクスプレス沿線整備による新市街地で構成されており、既成市街地の公共下水道は令和6年度でほぼ完成します。

一方、汚水適正処理構想により市街化調整区域を浄化槽計画区域に移行し、下水道事業の整備完了年度を25年短縮し、約280億円の事業費削減が期待できます。今後、利根運河等の水質改善を図るため、合併処理浄化槽の転換を積極的に進めています。

また、ストックマネジメント計画に基づき、50年以上経過した下水管路の点検・調査・改築を行い、事故を未然に防ぐことにより、市民の快適な暮らしを支えます。

本市の下水道事業は、効率的な事業運営を実施するため、平成27年度から地方公営企業法の適用を受け、上下水道局として企業会計で行ってきました。

最後に、下水道ビジョンを作成するにあたり、ご尽力いただきました流山市上下水道事業運営審議会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をお寄せくださいました市民の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和5年（2023年）3月

流山市上下水道事業管理者

志村 誠彦

流山市下水道ビジョン

目 次

第1章 下水道ビジョンの策定にあたって	2
1.1 目的と位置付け	2
1.1.1 目的	2
1.1.2 位置付け	3
1.2 計画期間	4
1.3 本計画の進め方	5
1.3.1 進め方の基本的な考え方	5
1.3.2 具体的な手順	5
1.4 本書の構成	6
第2章 概要	8
2.1 市の概要	8
2.1.1 市の沿革	8
2.1.2 人口動向	8
2.1.3 つくばエクスプレス沿線整備	10
2.2 下水道事業の沿革	11
2.3 下水道施設の概要	12
第3章 下水道事業の現状と評価	17
3.1 快適な暮らし	17
3.1.1 下水道普及率	18
3.1.2 下水道水洗化率	19
3.1.3 合併処理浄化槽への転換の促進と適正な維持管理	20
3.1.4 老朽化対策	22

3.2 安心・安全な生活	24
3.2.1 地震対策	24
3.2.2 浸水対策	26
3.2.3 災害対策（業務継続計画：BCP）	28
3.3 下水道事業の持続	30
3.3.1 下水道経営の健全化	30
3.3.2 計画的な維持管理による管路施設の更新コスト縮減	31
3.3.3 適正な執行体制の確立	32
3.3.4 官民連携への取り組み	34
3.3.5 市民の理解と協働の促進	35
第4章 基本方針・基本目標と実現方策	39
4.1 将来の見通し	39
4.2 基本方針	40
4.3 基本目標と実現方策	41
4.4 基本目標1 快適な暮らし	42
4.4.1 実現方策1-1 下水道未整備区域の整備	42
4.4.2 実現方策1-2 下水道水洗化率の向上	44
4.4.3 実現方策1-3 合併処理浄化槽への転換促進	46
4.4.4 実現方策1-4 下水道施設のストックマネジメントの推進	48
4.5 基本目標2 安心・安全な生活	50
4.5.1 実現方策2-1 地震対策	50
4.5.2 実現方策2-2 浸水対策	51
4.5.3 実現方策2-3 災害対策	52
4.6 基本目標3 持続的で豊かな環境	53
4.6.1 実現方策3-1 健全な下水道経営の維持向上	53
4.6.2 実現方策3-2 適正な執行体制の確立	54
4.6.3 実現方策3-3 市民の理解と協働の促進	55

第5章 投資計画と財政収支の見通し	58
5.1 投資計画	58
5.2 収益的収支の見通し	59
5.3 資本的収支の見通し	60
5.4 債務の見通し	61
5.5 料金・費用の見通し	62
流山市上下水道事業運営審議会委員名簿	63
流山市下水道ビジョン策定の経過	64



市野谷の森公園から流山おおたかの森駅周辺を望む

↓ページ下部の挿絵は市野谷の森の写真を連続して加工したものです。